

ふりがな 氏名	おおすか ふみこ	都道府県	静岡県	
	大須賀 史子			
所属/肩書	<ul style="list-style-type: none"> ・袋井市立浅羽東小学校 / 教諭 ・静岡県 IYEO 役員 			
関心・活動のSDGs				
私のESD活動	外国の孤児院へ本や衣類を送る活動、児童に海外の友人からの動画を見せる活動、海外の学校で日本の紹介をする活動			
活動の概要				
<p>何もしないより人のために今自分ができることをする。これが私のモットーです。旅行に行くと小銭がお財布に残ります。そのお金がもったいない！でも両替はできない！どうしよう！と思い、その使われない運命にあるお金を寄付金として集め、日本円に変え、ケニアの孤児院に下着や文房具、本、日本の物などを送る活動をしています。その孤児院で働いている友人からは、「衛生環境等をよくすることで今までより気持ちよく暮らせるようになった。下着等を買うために使っていたお金を、足りていなかったご飯代に回すことができている。」と聞いています。</p> <p>今の活動だけでは根本的な解決にならないことは分かっています。それでも、何もしないより使われないお金を世界の笑顔を増やすために回していくことは意味があると信じ、活動を続けています。</p> <p>今後は自分の仕事とも連動させていきたいと考えています。現在静岡県の小学校教師として働いています。学生時代に訪れた海外の孤児院や学校の動画をクラスの子供達と共有し、その国の文化について話し合う時間などを設けています。静岡県ではない、海外。見知らぬ世界の動画を見ている子供達の目は本当に輝いています。この孤児院の子供達と私の学校の子供達がペンパル(文通友達)になることを次のステップにしたいと考えています。未来を生きる子供達同士が繋がれば何か生まれると思います。そんな可能性を広げる活動もしていきたいと思っています。</p>				
私が考える教育の未来像				
<p>グローバルな教育。自分の愛し方を教える教育。この2つが私の目指す教育です。日本もグローバル化に伴い、英語の学習に力を入れ始めています。小学校でも指導要領が変わり、教科になります。英語という言語を勉強するだけでなく、世界市民として生きていくためにコミュニケーション力も必要です。また世界に出ていくだけではなく、日本にも貢献することのできる人材の育成にも力を入れていきたいです。2つ目の自分の愛し方を教える教育についてです。クラスの子供を見ていると自信がなく、友達と比較している傾向にあります。「個性は美しい。人と違っていい。」それを実感できるような教育になると幸せに生きていくことができると思います。</p>				
私の強み、活かせる経験やスキル				
<p>強みはやはり英語力、傾聴力だと思います。スイスで生まれ、高校、大学で長期留学をしました。実際に海外の機関などとも連携したいとなった時、自分の英語力は使えると自信があります。また人の話を聞く力、傾聴力があると思います。内閣府主催の世界青年の船でも日本人参加青年リーダーとして240人を束ねました。その際にはみんなの悩みをとにかく聞いて導く、ということをはたすを行いました。今回の参加者のやりたいこともしっかり丁寧に聞き、どんなプロジェクトであればみんながやりたいことができるか、クリエイティブなアイデアを自分では出せないにしても、みんなのアイデアをまとめることはできるのではないかと思います。</p>				